



Subaru

男声合唱団 ニュース№526 '15. 10. 12

「中秋明月祭 大阪 2015」で「平和・友好」の 6曲を歌ってきました！

10月11日

□10月10日(土)・11日(日)の2日間、「友好・共生」をテーマに、在日華僑華人・大阪日中友好協会等の諸団体が主催する「中秋明月祭大阪 2015」が「史跡難波宮跡」の野外ステージで開催されました。

「中秋祭」は在外の中国人・華僑の人々にとっては、年に一度、遠く離れた故郷に想いを馳せ、家族や友人とともに団欒する佳日ということで、大阪での「中秋明月祭」は第7回目を迎え、多くの関西の華僑の人々と地域の皆さんが集いました。

「昴」は今回出演の依頼を受け、11日(日)に賛助出演し、野外ステージで、本並先生の指揮で「淀川三十石舟唄」「白樺」「道」を、副指揮者の伊藤さんの指揮で、「林道人夫」「ねがい」「歎びのナーダム」の6曲を熱唱し、多くの観衆の拍手を受けました。（ピアノ伴奏は森二三さん、司会進行は石橋さん）（出演前に、ねむかホールにて11:00～12:00リハーサルを行いました。参加者は全27名でした。）



□野外での演奏は、普段では数少なく、“合唱にふさわしく”とはいきませんが、「声をしっかりと合わせること」「張りのある声で大きく歌うところは思い切って歌い、遠くへ声を飛ばすこと」そして「表情豊かに聴衆を魅了する声と姿を見せること」等、団員は頑張りました。

特に石橋さんの名司会のもとで、乾さんの出だし味のあるソロで始まる「淀川三十石舟唄」は第10回コンサートに向けて初披露の曲としてはよくまとまり、今後に期待を持たせる曲となりました。

「道」ではソリストの古谷さんの切々とした声の響きに感動の拍手が、「林道人夫」では奥村さんの熱い心の堂々たる熱唱にひときわ大きな拍手が贈られました。

最後の「歎びのナーダム」は「モンゴルのお祭り」ということで、好感を持って受け入れられたのではと、感じるところがありました。

